



南小だより

鶴岡市立榎引南小学校
発行日 令和5年10月26日

榎引南小創立60年のあゆみ

今年度は、学校創立60周年の記念の年です。11月11日（土）のふれあい祭後に、60周年記念式典を予定していますが、他にも、図書室のバーコード化、記念誌の発行、記念ファイルの作成と配布、ドリームアート展（12月にアートフォーラムで開催）など様々な事業を計画し進めてもらっています。これまで関わってくださった多くの方々に感謝しながら、この記念の年を子ども達や地域の皆さまと共に喜びたいと思います。

さて、今回は、南小60年のあゆみをふり返ってみます。

南小は、昭和38年に、当時の板井川分校（西小）と松根分校（東小）が榎引橋の完成により統合し、「榎引村立榎引南小学校」として開校しました。その頃は、全校で350人を超える児童数だったそうです。その翌年に新校舎が完成し、その後も体育館やプールなどが次々と建てられました。「そそり立つ母狩はまじか…」で始まる、今も歌い継がれている南小校歌は昭和40年に完成しました。

現在もたいへんお世話になっている同窓会は、昭和52年に発足しています。また、今年で34年目を迎える「りんご学習」は、平成2年にスタートしました。それ以来ずっと、「摘果」「袋かけ」「袋とり」「収穫」の4つの作業を地域の方々のご協力体験させてもらっていますが、そのおかげで果物栽培をととても身近に感じることができています。

創立35周年を迎えた平成10年に、南小イメージソングの『飛び出そう！わんぱくワールド』が作られました。今年の記念式典でも全校児童で歌う予定です。平成13年から横浜への修学旅行がスタートしました。青木小学校との交流、神奈川区民まつりへの参加を通して、ふるさと榎引の良さを学ぶ機会となっています。来年度から、横浜への修学旅行を再開する予定です。そして平成18年に現在の校舎が建てられ、翌平成19年の秋に竣工式典が開かれました。校舎が完成した年の12月に、みぞれの中、児童・保護者・教職員みんなで力を合わせ、旧校舎から新校舎への引っ越し作業を行ったそうです。他にはない、とても素晴らしい校舎で過ごせることをとても幸せに感じています。

今年で第4回目を迎える「ドリームアート展示会」は、平成21年に始まりました。子ども達が描いた100点ほどの作品をアートフォーラムをお借りして展示する企画ですが、今年は、12月21日（木）～26日（火）に開催されます。ぜひ会場に足を運んでいただき子ども達の作品に触れてみてください。

駆け足で60年のあゆみをふり返ってきましたが、一つひとつの思い出に地域や保護者の皆さまの熱い想いや願い、子ども達への温かい眼差しを感じました。60年積み重ねてきたことや大切にしてきたことを受け継ぎながら、次の新しい10年に向けてつなぎ、発展させていきたいと感じたところです。

校長 岡部 貞二